

〔科目名〕 経営特殊講義Ⅰ(中小企業論)	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目(展開科目)
〔担当者〕 上田 弘 (Hiromu Ueda)	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業日の12:00～12:30 場所: 604 研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 テーマ：中小企業の役割と特徴 中小企業論を学ぶにあたり、わが国経済において、中小企業が企業数で99.4%を占めている、これに対し大企業は企業数でわずか0.6%にしか過ぎません。本授業では、わが国経済の大部分を占めている中小企業経営及びベンチャー企業経営の現状と課題を大企業との比較を通じて明らかにし、これからの中小企業、ベンチャー企業のあり方と「企業の力を見抜く目利き力」を学びます。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 一般的に、中小企業といえば、大企業と比べて企業規模が小さく、経営体質がぜい弱で、大企業のほうが有利であるという見方をしていませんか？ところが、わが国経済において、中小企業は企業数で9割超、従業員数でも7割超の規模を占めており、依然として重要な役割を担っており、その期待は高まる一方です。そうした期待を実現しようとする動きとして、新規創業・起業のほか、地域において業績を伸ばしている中小企業、ベンチャー企業が注目されています。そこで、本授業では、中小企業をよく理解するために、次の3つの視点で学ぶこととします。 1. わが国経済、産業、地域社会における中小企業と役割について 2. 中小企業経営の特徴と経営課題について 3. 話題性のある中小企業事例（伊那食品工業など）、ベンチャー企業事例（楽天など）、大企業事例（ソニー、サントリーなど）の事例		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 本授業では、中小企業の位置づけと役割のほか、中小企業と大企業との比較を通じて、企業経営に対する興味と理解を高め、将来の就職活動、合同説明会、インターンシップの場面で役立つ「企業の力を見抜く目利き力」を学ぶことを目標にします。 <u>なお、本授業では3回の連続授業を実施します。</u>		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 この科目を本学で担当するにあたり、私がこれまで、国の中小企業政策を担当した知識、中小企業で実質経営責任者として勤務した経験から得た知見、全国各地の多くの中小企業をフィールドワーク、海外調査で訪ねた企業事例などを通じて、中小企業に関する経営現場や実態に関する知識を付与したいと思います。また本授業を通じて、履修者からの要望、「改善・工夫」に関連して意見やアンケート内容を授業に取り込む工夫も積極的に行っていきたい。		
〔教科書〕 渡辺幸男・小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫著 第3版『21世紀中小企業論』 有斐閣アルマ		
〔指定図書〕 上田浩史・桑原武志・本多哲夫・義永忠一 著（2008）『中小企業・ベンチャー企業論』 有斐閣コンパクト 池田潔・太田一樹ほか著 高田亮爾ほか編著（2013）『現代中小企業論』 同友館		
〔参考書〕 松田修一 著（2014）『ベンチャー企業』 日経文庫 太田一樹・池田潔・文能照之 編著（2007）『ベンチャービジネス論』 実教出版 日本中小企業学会論集（2011）『世代交代期の中小企業経営』 同友館 中小企業庁編 『中小企業白書』 各年版（2008～2020）		
〔前提科目〕 なし		

〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等）

・評価の方法

1. 授業開始後、中間時に「課題レポートの提出」を課し、提出されたレポートは、最大50点評価とします。
2. 学期末に『定期試験』を行い、最大50点評価とします（試験では教科書、レジメ、講義ノートは持込み可）。上記2つの要素で最終評価に反映させます。

〔評価の基準及びスケール〕

・評価の基準

授業で得た知識をもとに、中小企業、ベンチャー企業、大企業の経営の特徴について論じる力で評価します。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

- ・受講を希望する者は、必ず1回目の授業に出席するものとします。
- ・授業は、出来るだけ分かりやすい授業を行い、一方的に話すだけではなく、学生の意見を求め、ディスカッション、輪読等を行うこともあります。そのため、受講する学生は、授業への参加意欲を持って出席してほしい。
- ・PC や iPad などは、ノートをとる必要及び事例企業などを検索する場合などに限り、その使用を認めます。

〔実務経歴〕

経済産業省（旧通産省）、中小企業等での実務経験を活かし、中小企業経営及びベンチャー企業経営の現状と課題を大企業との比較を通じて明らかにし、中小企業経営のあり方と「企業の力を見抜く目利き力」などの習得を目指す授業です。

授 業 ス ケ ジ ュ ー ル

第1回	テーマ(何を学ぶか)：オリエンテーション、中小企業について学ぶ意義 内 容：わが国の産業構造の変化、少子高齢化社会を考える、企業の諸形態、中小企業の定義、ベンチャー企業概念、日本経済の担い手としての中小企業の重要性など 教科書と配布資料
第2回	テーマ(何を学ぶか)：日本経済、産業における中小企業の位置づけ 内 容：中小企業の定義と大企業(上場企業)の定義、ベンチャー企業とは、日本経済の担い手としての中小企業の課題など 教科書と配布資料
第3回	テーマ(何を学ぶか)：日本の経済発展と中小企業 内 容：戦後日本の中小企業発展の軌跡 (戦後復興期、高度成長期、減速経済期、長期経済停滞期など) 教科書と配布資料
第4回	テーマ(何を学ぶか)：地域社会と中小企業 1（主に製造業の産業集積） 内 容：もの作りと中小企業（社会的分業構造、中小工業をめぐる議論、中小製造業の経営特質など） 教科書と配布資料
第5回	テーマ(何を学ぶか)：地域社会と中小企業 2（中小企業の下請取引形態） 内 容：下請中小企業(日本の下請けシステム、中小企業の「脱下請化」の実態、中小企業の技術と研究開発など 教科書と配布資料
第6回	テーマ(何を学ぶか)：地域社会と中小企業 3（商店街と中小小売業等） 内 容：中小商業と流通、中小商業の存在意義、中小商業の構造的特質、商店街の現状と商人など 教科書と配布資料
第7回	テーマ(何を学ぶか)：ファミリービジネス 内 容：ファミリービジネスの概念、日本の企業形態と同族企業(サントリーなど)、長寿企業、エノキアン協会など 教科書と配布資料

第8回	テーマ(何を学ぶか): 中小企業の事業承継と後継者育成 内 容: 中小企業の事業承継を取り巻く状況、中小企業の事業承継の課題、後継者育成など 教科書と配布資料
第9回	テーマ(何を学ぶか): 中小企業の財務と金融 内 容:、国内企業と青森県企業の業況判断、中小企業の経営指標、中小企業金融と資金調達、金融機関の中小企業を見る目など 教科書と配布資料
第10回	テーマ(何を学ぶか): 創業・起業とベンチャー企業 内 容: 創業・起業のしかた、会社の設立とビジネスプラン作成、会社の株式上場(大企業への道)、ベンチャー企業など 教科書と配布資料
第11回	テーマ(何を学ぶか): 中小企業の情報化、ネットワーク化、グローバル化 内 容: 中小企業の情報化とIT利用、中小企業のネットワーク化(異業種交流、新たな連携の形) 中小企業のグローバル化と海外展開事例など 教科書と配布資料
第12回	テーマ(何を学ぶか): 最近のトピックス 1(話題の中小企業事例など) 内 容: 地域経済を支える中小製造業の事例(日本理化学工業、伊那食品工業)など 教科書と配布資料
第13回	テーマ(何を学ぶか): 最近のトピックス 2(話題の中小企業事例など) 内 容: 中小商業・サービス業、ベンチャー企業の事例(杉山フルーツ、楽天)など 教科書と配布資料
第14回	テーマ(何を学ぶか): 国の中小企業政策、中小企業の働き方改革 内 容: 国の中小企業政策、中小企業金融の特徴(一部でゲストスピーカーを予定)、会社設立のしかたなど 教科書と配布資料
第15回	テーマ(何を学ぶか): まとめと復習 内 容: これまでの授業の中から、「いい会社とは」…業績がいい企業とは、長寿企業とは、どんな企業なのか、中小企業や大企業の事例で考える。 教科書と配布資料
試験	筆記試験の実施